

しみんけんきゅうニュース

発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

6/29 くるくる環境フォーラム 開催

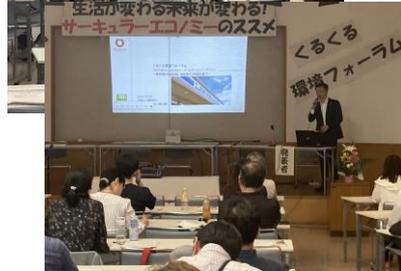
【目次】

- P2 TOPICS
- P3 各チーム活動報告
- P4-5 特集 市民とお店 PT
- P6 主担研究員コラム
- P7 市民研究所通信
- P8 8・9・10 月行事予定



6/14 環境スクール開校

基調講演&事例発表



ご参加ありがとうございました。

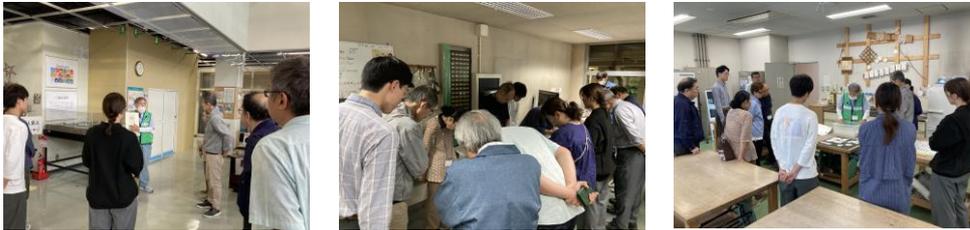


TOPICS

くるくる環境スクール～ごみの分け方12種分別を学ぶ～

環境月間の6月14日(土) くるくる環境スクール第8期生開校式後
破砕選別工場の見学へ、3階の中央操作室にスクール生11名と入りました。
収集した大型ごみをガラス越しに見ると、手作業で燃えるごみと燃えないごみの
選別を行っています。目の前には大きな重機が迫ってきて圧倒的な迫力です。
ごみ種別搬入量と回収量の実績は図表とイラストで表現して分かり易く伝え、
吹田市のごみ事情を学びました。

4階の市民工房に戻り、再生して販売する自転車と家具、おしゃれを楽しむ布の
リメイク、“触れて・感じて”人との交流がある楽しい場所を案内しました。



(市民研究員兼施設案内専門員 椎橋保彦)

くるくる環境フォーラム～生活が変わる未来が変わる！サーキュラーエコノミーのススメ～

6月29日に小幡理事長の基調講演では、サーキュラーエコノミーという難しく感じる
言葉でしたが、源流は江戸時代の“モノを大切に使いまわしていく暮らし”で環境をよく
しようという事ではなかった様ですが…限られた資源を使い切る取組は、現在においては
参考になるお話でした。企業団体の事例では、衣料品の回収によるリユース・リサイクル
の取組紹介。コーヒー豆の麻袋の活用法として繊維にしてフェルトへ、これは車の天井材
になる取組。クローズしたコンビニの解体した材料を再利用している会社。どの企業もも
ったいない精神で地道に努力されていることを知りました。吹田市環境政策室の使用済み
油を集めて空を飛ぶ「Fry to Fly Project」の取組は使用済み油を回収所へ持って行こう！
と、ワクワクした気持ちになりました。



(市民研究員 阿部節)

プロジェクトチーム (PT) ・ アクションチーム (AT) 活動報告

市民とお店をエコでつなぐ PT

定例会では出前講座などの日程調整・準備をする他に研究会を行っています。メンバーごとに研究テーマを決めていますが、社会への提言につながる取組みになるよう、意見交換を重ねています。

吹田ごみゼロシステム研究 PT

3名の新規メンバーの研究テーマは「ガラス瓶の3Rを調べ、プラスチック問題の解決のヒントを探る」「商品包装・梱包資材の削減に向けて出来る事」「食品廃棄物の堆肥化と有効利用」です。

6月定例会では、テーマ進捗報告(含む ブログ原稿の確認)や「コンポスト」についての情報交換を行いました。定例会の開催2日前までに報告内容を全員にメールする。定例会毎に少なくとも1つブログ原稿を作成し、事前に提出するというのがチーム内のルールです。各自の研究テーマやブログについて、メンバーで意見交換しながら進めています。

身近な環境を調べよう PT

池の調査も3年目になり、調査の成果をまとめ始めました。吹田市内の池のことをもっと多くの人に知ってもらえるようにしたいです。 [Instagramはこちら](#) →



SDGs 啓発 PT

新たなメンバーを迎え、定例会ごとに実際にゲームを体験しながら活発に意見交換を行うなど、精力的に活動を展開しています。市民への伝え方を深める実践的な学びを重ねています。

手作りおもちゃと環境 AT

キッズ環境スクールではサイコロキューブ、毎年違った手作りおもちゃ体験を実施しています。施設見学後体験、クラブ支援などチームみんなで協力して準備・講座を行っています。

紙すき体験と環境 AT

8月に入ると公民館への出前講座が3件あります。暑い中ですが熱中症に気を付けて、無理せず元気で夏を乗り越えましょう！

マイ食器啓発 AT

ロハスフェスタ万博 2025 秋に出展予定です。マイ食器持参、啓発活動を行っていきます！

廃プラスチックの行方

市民とお店PT 菊田善雄

2019年の廃プラスチック排出量は850万トンで、そのうち85%にあたる726万トンが有効利用されている。有効利用量、有効利用率ともに徐々に増えている。

家庭から出る廃プラスチックは、大きく分けると可燃ごみ、不燃ごみ、資源（容器包装）のいずれかとして処理される。処理の流れは、基本的に下の図のようになる。（家電、自動車、大型ごみにふくまれるプラスチックは除く）

どんなプラスチックがどのように分別収集されるかは自治体によって異なる。

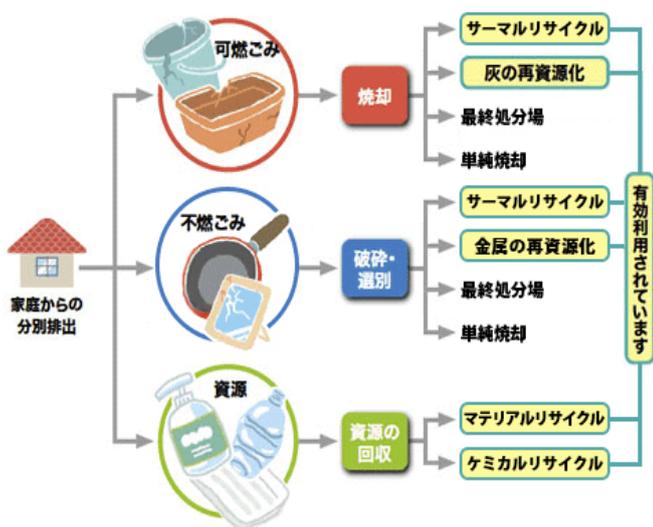
「可燃」として収集されたプラスチックも、熱利用や発電など有効利用されている場合もある。

資源として収集された廃プラスチックは、大別して「マテリアルリサイクル」、「ケミカルリサイクル」、「サーマルリサイクル」の3つの手法でリサイクルされている。

「マテリアルリサイクル」とは、プラスチックを溶して、もう一度原料として使う。

作業着、ベンチ、建築資材、繊維、シート、ボトル、文具など

家庭から出る廃プラスチックの流れ（大型ごみ、家電などを除く）



「ケミカルリサイクル」とは、化学工場や製鉄所で原料として利用する。

鉄をつくるときの還元剤や、化学製品の原料、ガス、油など

「サーマルリサイクル」とは、燃やして熱回収しエネルギーとして利用する。

固形燃料、原燃料、温水（プール、浴場）、暖房、電気など

ゴミ焼却発電と熱利用のしくみ

廃プラスチックは紙ごみの約3倍の発熱量がある。高い発熱量をもつプラスチックを含むごみは貴重なエネルギー源として、今後ますますその有効活用が望まれる。

一番環境にやさしい方法はどれかを考えて、リサイクルのやり方を選ぶことが大切である。

廃プラスチックをめぐる課題の整理

現状では、いろいろなものが一緒になっている「その他プラ」を強引にマテリアルリサイクルしてしまっている。

考えられる大きな2つの背景は、

①廃プラスチックのリサイクルを「その他プラ」で一括りに考えている。

家庭から出る「その他プラ」は食品残渣による汚れが付いていたり、多種類のプラスチックが混合していたり、包装材自体が多層構造の複合材であることが多いため、マテリアルリサイクルには向かないものである。

このようなプラスチックを一括で集めてリサイクルすること自体に無理がある。

②リサイクル業者を決める入札制度でマテリアルリサイクルが優先されている。

「分別(ぶんべつ)」ある分別と適正処理

「集めたものをどうリサイクルするか」から、「どのようなものを何にリサイクルするために集めるか」へ、発想の転換が必要。

廃プラスチックの排出状態と素材構成からリサイクル手法を決める

PETや白色トレイなど単一素材はマテリアルリサイクルし、
複合材や汚れた廃プラはケミカルリサイクルや熱回収・発電を行う。



マテリアルリサイクルをするのであれば、PETボトルや白色トレイのように、わかりやすく分別しやすい単一素材でできているものを集め、その他大勢のプラはケミカルリサイクルや熱回収を行うというように、廃プラ処理の手法を LCA の視点で見直すことが必要である。そのうえで、リサイクルは排出状態や素材構成をもとに行うべきである。

「製品プラ」の現状

容器包装プラスチック以外にプラスチックを使用した製品がたくさんある。「製品プラ」と呼ばれるこれらプラスチック製品のリサイクルがあまり進んでいない。「同じプラスチックなのに、なぜ？」と思う方もいる。

多くの自治体で、製品プラは「燃やすごみ」にしている。製品プラを焼却して量を減らすこと、これは埋立処分場の延命に大きく貢献する。

また、廃プラを燃焼させることで焼却炉の助燃材が節約できるというメリットもある。

カロリーの安定している RPF 化も有効な利用方法だ。

一方で近年、海洋プラスチックごみ、気候変動、資源の枯渇といった問題がクローズアップされている。これら問題の解決のためにプラスチックの3R(リデュース、リユース、リサイクル)を進め、再生可能資源を使っていくことを目指し2022年4月から「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラ新法)」が施行された。

えらんで、減らして、リサイクル

「プラ新法」スタート

「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラ新法)」は、プラスチックのライフサイクル(設計、製造、販売・提供、排出・分別、回収、リサイクル)全体に、事業者、消費者、国、地方公共団体等のすべての関係主体が参画し、相互に連携しながら環境整備を進めることと、相乗効果を高めていくことが重要なので、それぞれの立場での役割を明確にすることを規定している。

消費者の役割は

- ①プラスチック使用製品の使用の合理化によりプラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制する。
 - ②事業者及び市町村双方の回収ルートに適した分別排出をする。
 - ③認定プラスチック使用製品を使用する。
- 以上に努めなければならない。

製品プラは、リサイクルのしやすさ、つまり単一素材である程度まとまって集めるということに難しさがあるが、今後みんなの力を合わせて取り組みを広げてゆくことが重要である。

【参考文献】一般社団法人
プラスチック循環利用協会、「プラスチックのはてな」

2 期目トランプ大統領の暴走が止まらない。

先ず、相互関税。中国に対しては一時 145% というめちゃくちゃな数字で脅しをかけてきたが、中国も負けじと「とことんお付き合いします」と 125%を出してきてさすがにトランプ大統領も引き下がらざるを得なかった。日本との交渉もなかなかまとまらず、日本はアメリカ産の米に 700%の関税をかけているなどとデタラメな数字を出したりして、現在は日本は 25%、EU にも 30%という状況である。自動車に関して日本はアメ車を輸入しないと言って更なる関税を予定しているようだが、そもそも、アメ車は日本の風土に馴染まない。日本でもアメ車を利用してもらいたいならば、日本の道路状況に合った規格のものを作ったらいのに、それは棚に上げて無理難題を押しつける。

この他、極めて由々しき問題は、例えば、ハーバード大学を始めとするアメリカの名だたる大学をターゲットとして、国家安全保障上の懸念とか、アメリカの価値観に合致しないという理由で、外国留学生のビザ取り消しや入国制限といった締め出し、排除を目論んでいることである。ハーバード大学などは外国からの留学生が 30%を占めており、確かにそれが大学の資金の一部を支えていたりはそののだが、外国からの留学生の新しい知見がアメリカ、ひいては世界の学術研究をリードすることにもつながっている。実は、こうした状況は日本の大学でも同様であり、東大や京大はもちろんのこと、多くの国公立大学でも特に大学院では留学生の占める割合は極めて高くなっている。そもそも、日本の若者は大学院まで進学する人がとみに減っているのだ。

このことは、ひとえに、彼の「アメリカファースト」ということとつながっている。

不法移民の強制国外退去処分などはその典型であるし、そもそも、彼は明確に LGPTQ など、多様性を完全に否定している。まさに、排外主義を地で行っているわけである。

しかし、こうした「アメリカファースト」といった「排外主義」が生み出すものは、「分断」と「諍い」でしかない。金子みすゞの「みんなちがって、みんないい」に見られるような、相手との違いを認め、相手をとことん尊重する、相手の尊厳を認めるという「人間主義」は到底こうした「アメリカファースト」から生まれてはこないのだ。

ところで、トランプ大統領の出現でもう一つ危惧されるのが、気候変動対策の大幅な後退である。トランプ大統領は「気候変動詐欺」とまで言い切っており、パリ協定からの離脱のみならず、「Drill, baby! Drill! (掘って、掘って、掘りまくれ!)」と化石燃料の増産を推進しようとしている。EV 車に関して「私は非常識な EV 義務化を中止する」と「脱 EV 化」を宣言している。こうしたことで、世界が一度はその方向に流れた CO2 排出量削減の動きが鈍くなることも予想される。

EV 車の政策では、恐らく中国の世界市場におけるその地位を念頭に置いている。私は今年の 1 月に深圳、5 月に杭州、6 月に福州、7 月に厦門と中国に出張してきたが、その度に痛感したのが、中国における EV 車の普及である。特に、この傾向は長江から南に下がるにつれて高くなる。深圳などではもはや緑ナンバー（中国では EV 車は緑のナンバープレート、青がガソリン車である）は 6 割から 7 割を超えている、厦門でも 5 割超である。当然、充電スポットもほとんどの駐車場で一台一台に備わっている。BYD の自動車は 5 分の充電で 500Km 走行を謳っている。今や、こうした中国の EV 車が世界市場を席巻しているのであり、それへの敵意の表れでもあるだろう。

いずれにせよ、今、世界はアメリカ大統領のくしゃみ一つで大きく右へ左へと動かされている。そんな中でも私たちはしっかり自分たちの進むべき道を歩んでいくべきであろう。

市民研究所通信

くるくる環境スクール第8期生

今年度の環境スクール、6月14日に開校式を行いました。全8講座でスタートです。

何かに取り組みたいけど何から始めたらいいのか分からずにいたが、思いきって申し込みされた方、何か新しい発見を求める大学生や、ボランティア活動に興味がある方など“何かを始めよう！”14名でスタートしました。

くるくる環境フォーラム(6/29)、市民研究員出前講座 SDGs 啓発プロジェクトチームが SDGs カードゲームで交流しました(7/12)。



次回は9月に見学バスツアーへ行きます！

くるくるキッズ環境スクール

7月19日に開校式があります。なんと、今年で3年連続受講してくれているリピーターも！環境の事についてたくさん学び、大人よりも知っていることが多いかもしれません。何よりも受講したキッズの皆さんが半年後には逞しく修了証を手にし、生活に実践できることから取り組んでいってくれることを願っています。

マイ食器啓発アクションチーム

ロハスフェスタ万博 2025 秋、10月31日～11月2日の3日間出展予定です。今年で20年目を迎えるイベント、大阪・関西万博閉幕後1970年の万博会場、たくさんお客様が来てくれますように…。

《事務局 浅野》



～WORLD CLEANUP DAY 2025～

今年で3年続けて参加している“WORLD CLEANUP DAY”世界中で一斉に地球を清掃する日9月20日(土曜日)に実施予定です。例年、手作りおもちゃと環境アクションチームのメンバーが主体となり、公益財団法人千里リサイクルプラザの市民研究所で参加登録しています。2023年の国連総会にて、毎年9月20日を国連が定める国際デーとして登録されました。きれいな地球を未来に残すために、グローバルな環境対策アクションに参加しませんか？

9月20日(土) 10:30～1時間程度 くるくるプラザB棟4階集合 雨天決行

注：A棟エレベーター工事のためスロープで4階広場へ、右手にB棟があります。

当日は暑いので水分・タオルなど忘れずにお持ちください。(軍手・トング貸出あり)

*** 一緒にSDGsに向けて活動しましょう！ ***



くるくるプラザ 市民研究所 予定表



休館日 8月
4日・11日・12日・18日・25日



8月2日	土	市民研究所代表者会議
8月6日	水	くるくるキッズ環境スクール②
8月10日	日	くるくるサロン(三輪研究所長)
8月17日	日	くるくる夏フェスタ・おもちゃ病院
8月19日	火	自転車抽選日



休館日 9月
1日・8日・15日・16日・22日・
23日・29日



9月6日	土	市民研究所代表者会議
9月11日	木	くるくる環境スクール④見学バスツアー
9月12日	金	もったいないバザール実行委員会②
9月17日	水	自転車抽選日
9月21日	日	くるくるキッズ環境スクール③・おもちゃ病院
9月28日	日	くるくるアイデアコンテスト表彰式



休館日 10月
6日・13日・14日・20日・27日



10月4日	土	市民研究所代表者会議
10月10日	金	研究運営委員会
10月19日	日	もったいないバザール・くるくる環境スクール⑤・ くるくるキッズ環境スクール④・おもちゃ病院
10月21日	火	自転車抽選日
10月22日	水	くるくる環境スクール⑥
10月24日	金	もったいないバザール実行委員会③



10/31~11/2
ロハスフェスタ出展予定
皆さん、ぜひ遊びに来て
くださいね～